

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 11 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県新発田市富塚1942番地

氏名 新発田建設株式会社
代表取締役社長 渡辺 明紀

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

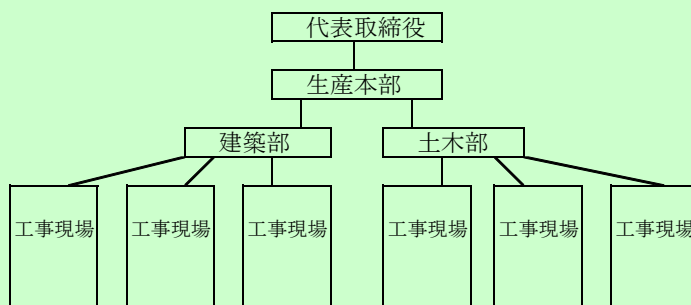
電話番号 0254-27-5711

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	新発田建設株式会社
事業場の所在地	新潟県管轄区域内(新潟市を除く)
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 77億4千5百万円
③ 従業員数	105名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・ 汚泥→脱水、再資源化or埋立処理・ 廃プラスチック類→破碎、再資源化・ 紙くず→選別、再生or焼却・ 木くず→木材チップ、再資源化・ 金属くず→選別、再資源化・ ガラスくず→破碎、再資源化・ 石膏ボード→再資源化・ コンクリート破片→破碎、再資源化・ アスファルト類→再資源化・ 管理型混合廃棄物→選別、再資源化 (上記はいずれも委託業者による処理となります)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



統括責任者	生産本部 本部長
建築部責任者	建築部部長(産廃処理指導管理)
土木部責任者	土木部部長(産廃処理指導管理)
工事現場責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物処理計画策作成 ・ 廃棄物管理状況の把握と改善の検討 ・ 処理業者、再生利用業者の選定管理 ・ 委託契約の締結 ・ 産業廃棄物管理票の交付・管理 ・ 監督官庁への各種報告 ・ 社員・協力会社に対する教育・啓発 ・ 所属長への廃棄物管理状況等の報告 ・ その他関係する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (6 年度) 実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合(安定型)	混合(管理型)	木くず
	排出量	29,578.354 t	1,514.260 t	37.040 t	81.875 t	68.232 t	5.392 t	80.302 t	115.295 t
② 計画	産業廃棄物の種類	石膏ボード	汚泥	紙くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	伐採材・伐根材	ダンボール	繊維くず他
	排出量	45.480 t	123.580 t	16.360 t	425.412 t	16.910 t	982.340 t	0.110 t	1.889 t
(これまでに実施した取組)									
各建設現場において、協力業者の余剰材の引き取り徹底を図った。									
【目標】									
① 現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合(安定型)	混合(管理型)	木くず
	排出量	1,830.00 t	500.00 t	50.00 t	30.00 t	200.00 t	5.00 t	50.00 t	200.00 t
② 計画	産業廃棄物の種類	石膏ボード	汚泥	紙くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	伐採材・伐根材	ダンボール	繊維くず他
	排出量	40.00 t	50.00 t	30.00 t	10.00 t	1.00 t	2.00 t	1.00 t	1.00 t
(今後実施する予定の計画)									
各建設現場において、協力業者の余剰材の引き取りの更なる徹底を図る。									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)								
	各現場内における、分別作業を徹底し、他の廃棄物の混入が無いよう徹底する。								
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)								
	上記の取り組みを更に徹底し、推進する。								

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合(安定型)	混合(管理型)	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	汚泥	紙くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	伐採材・伐根材	ダンボール	繊維くず他
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量								
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合(安定型)	混合(管理型)	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	汚泥	紙くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	伐採材・伐根材	ダンボール	繊維くず他
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合(安定型)	混合(管理型)	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	汚泥	紙くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	伐採材・伐根材	ダンボール	繊維くず他
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量								
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合(安定型)	混合(管理型)	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	汚泥	紙くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	伐採材・伐根材	ダンボール	繊維くず他
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】		コンクリートがら	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合(安定型)	混合(管理型)	木くず
① 現状	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	汚泥	紙くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	伐採材・伐根材	ダンボール	繊維くず他
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】		コンクリートがら	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合(安定型)	混合(管理型)	木くず
② 計画	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	汚泥	紙くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	伐採材・伐根材	ダンボール	繊維くず他
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】		コンクリートがら	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合(安定型)	混合(管理型)	木くず
① 現状	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量	29,578.354 t	1,514.260 t	37.040 t	81.875 t	68.232 t	5.392 t	80.302 t	115.295 t
	優良認定処理業者への処理委託量	5.520 t	0.000 t	10.830 t	8.635 t	60.860 t	0.000 t	44.838 t	26.925 t
	再生利用業者への処理委託量	29,572.834 t	1,514.260 t	26.210 t	73.240 t	7.372 t	5.392 t	35.464 t	88.370 t
	認定熱回収業者への処理委託料								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	汚泥	紙くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	伐採材・伐根材	ダンボール	繊維くず他
	全処理委託量	45.480 t	123.580 t	16.360 t	425.412 t	16.910 t	982.340 t	0.110 t	1.889 t
	優良認定処理業者への処理委託量	19.840 t	119.510 t	5.880 t	5.360 t	2.600 t	0.000 t	0.110 t	0.914 t
	再生利用業者への処理委託量	25.640 t	4.070 t	10.480 t	420.052 t	14.310 t	982.340 t	0.000 t	0.975 t
認定熱回収業者への処理委託料									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
(これまでに実施した取組)									
委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。									

① 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合(安定型)	混合(管理型)	木くず
	全処理委託量	1,830.00 t	500.00 t	50.00 t	30.00 t	200.00 t	5.00 t	50.00 t	200.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	565.00 t	100.00 t	20.00 t	20.00 t	100.00 t	5.00 t	20.00 t	50.00 t
	再生利用業者への処理委託量	1,265.00 t	400.00 t	30.00 t	10.00 t	100.00 t	0.00 t	30.00 t	150.00 t
	認定熱回収業者への処理委託料								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託料								
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	汚泥	紙くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	伐採材・伐根材	ダンボール	繊維くず他
	全処理委託量	40.00 t	50.00 t	30.00 t	10.00 t	1.00 t	2.00 t	1.00 t	1.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	35.00 t	10.00 t	5.00 t	10.00 t	1.00 t	2.00 t	1.00 t	1.00 t
	再生利用業者への処理委託量	5.00 t	40.00 t	25.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託料								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託料								
(今後実施する予定の取組)									
可能な限り優良認定業者から委託先を選定する。									
※事務処理欄									